

2023年7月4日

2023年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第6回 7月上旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門 (植田)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

卵の出現数は前年より多く、平年より少なかった。

前年	2022年7月5日	(7点の平均)	7.0 個/m ³
前回	2023年6月15日	(7点の平均)	10.6 個/m ³
今回	2023年7月4日	(7点の平均)	10.2 個/m ³
※7月上旬の平年値			14.9 個/m ³

○カタクチイワシ仔魚の出現状況

仔魚の出現数は前年と同程度であり、平年より少なかった。

前年	2022年7月5日	(7点の平均)	0.7 尾/m ³
前回	2023年6月15日	(7点の平均)	1.2 尾/m ³
今回	2023年7月4日	(7点の平均)	0.7 尾/m ³
※7月上旬の平年値			2.4 尾/m ³

○プランクトン調査

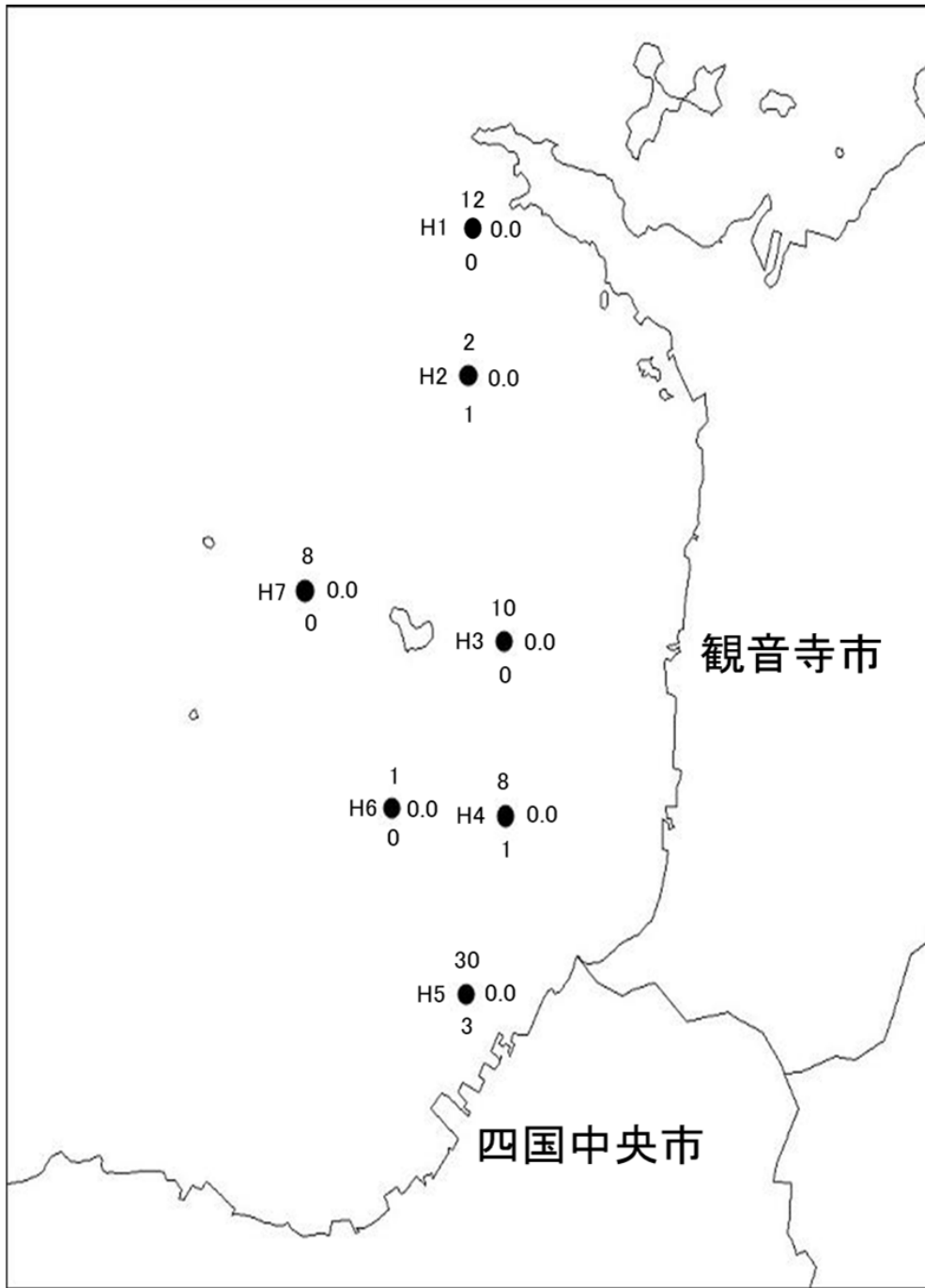
プランクトンは、夜光虫が優占した。
カタクチイワシの餌となるカイアシ類量は前年及び平年よりも少なかった。

○カブトクラゲ調査

カブトクラゲは前年より多く平年より少なかった。

次回の調査は7月19日(水)に実施予定

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(2023/7/4)

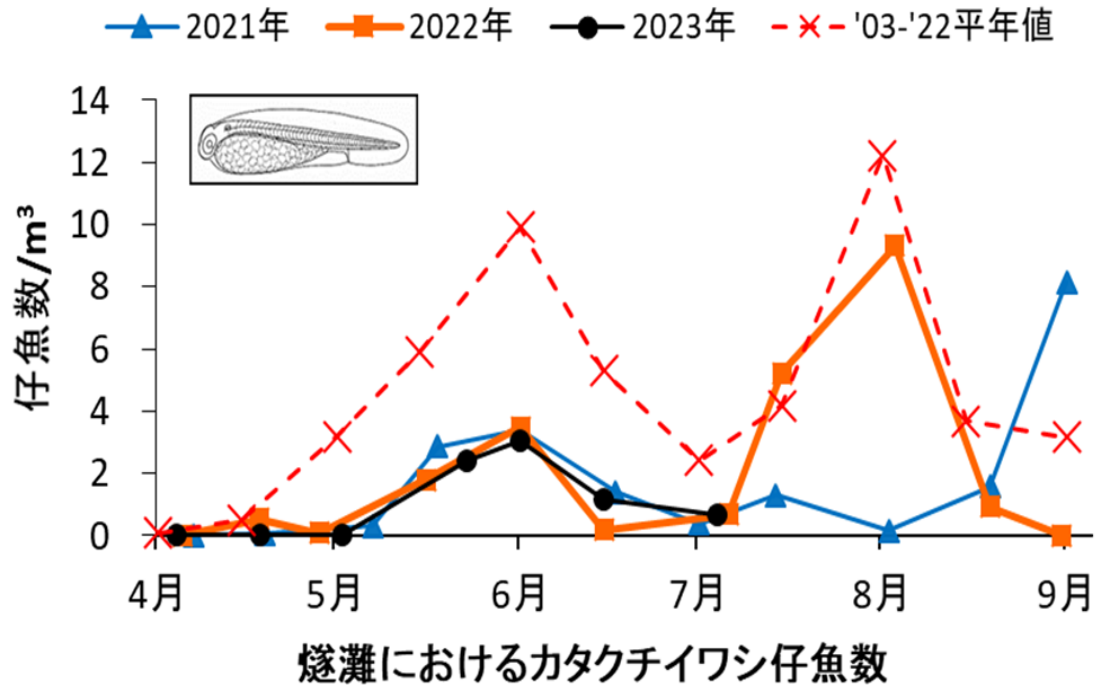
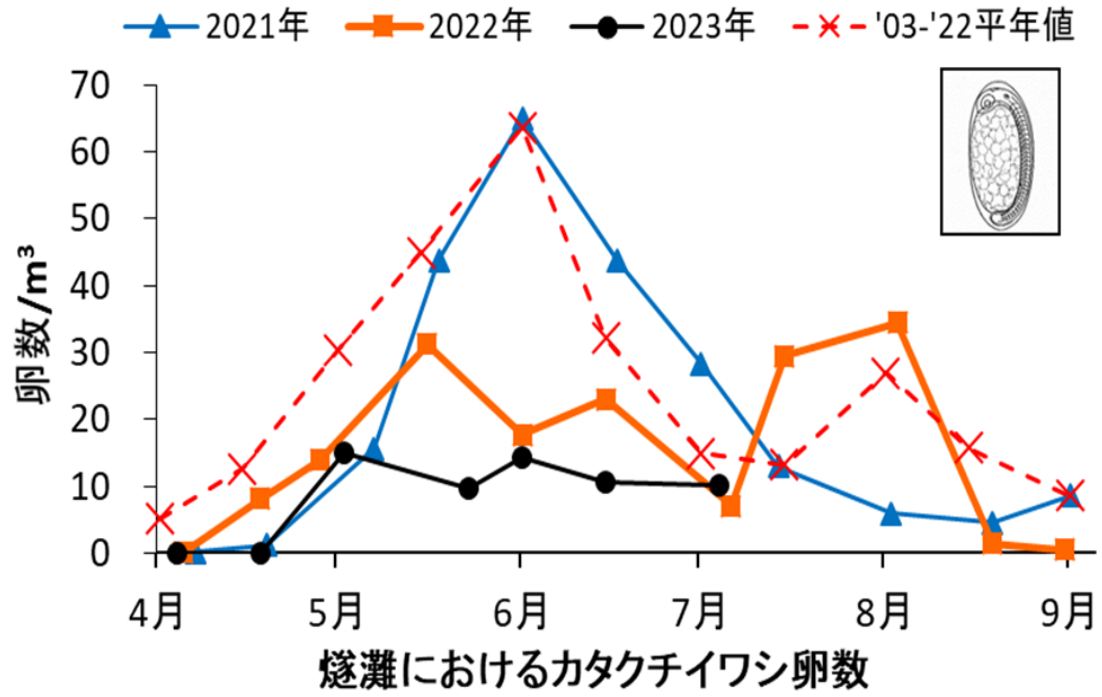


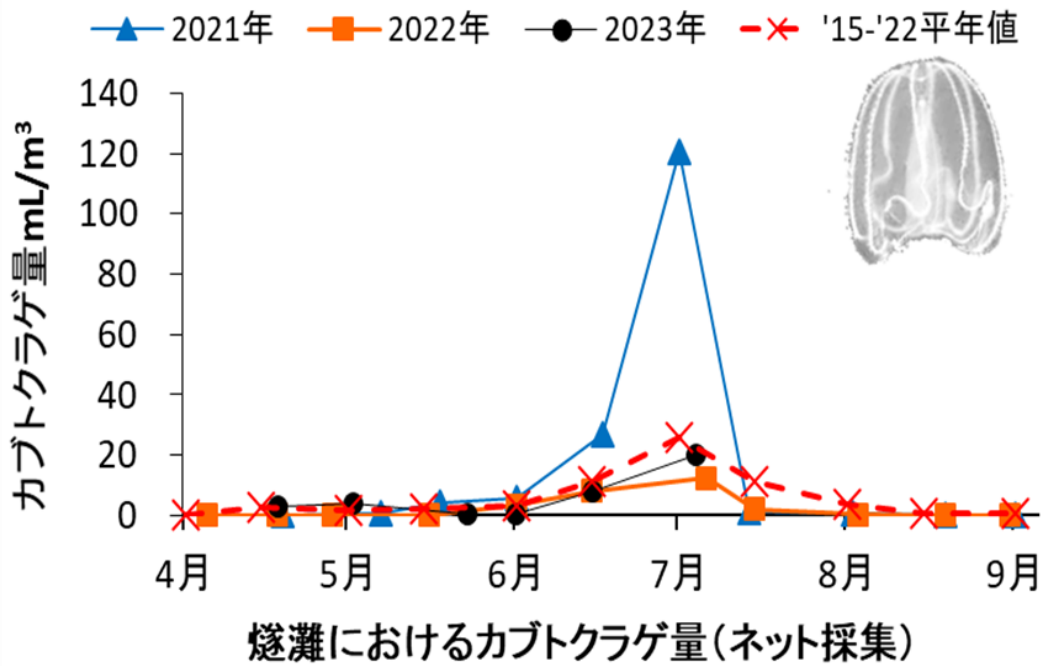
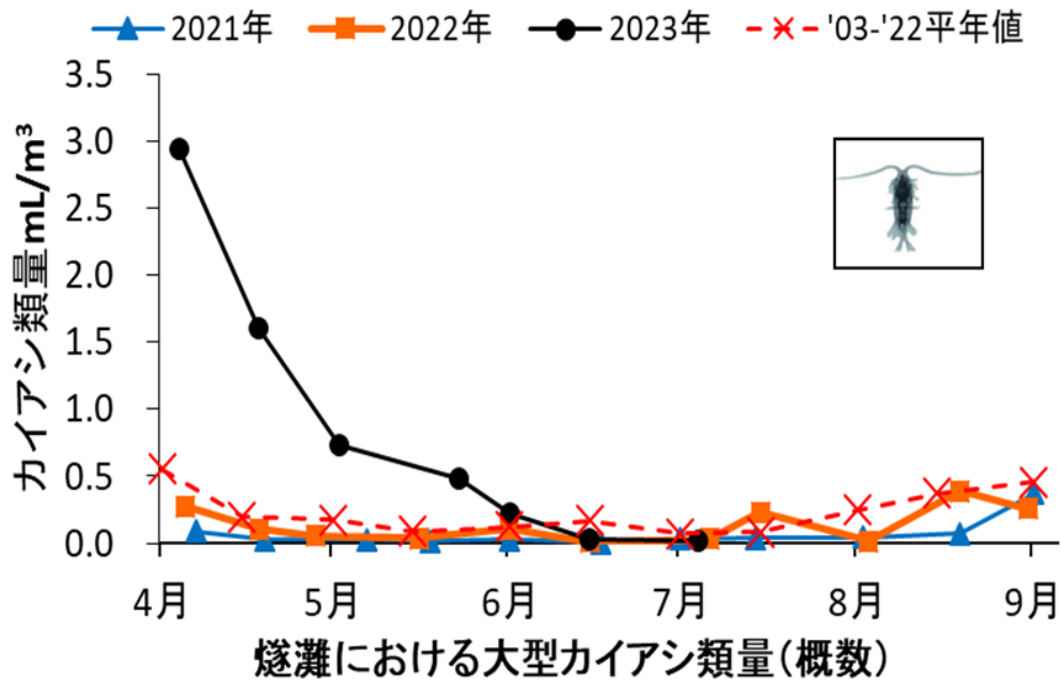
●の上側がカタクチイワシ卵密度(卵数/m³)を、
下側がカタクチイワシ仔魚密度(仔魚数/m³)を、
右側がカイアシ類密度(カイアシ類量ml/m³)を示す。

※カイアシ類量は、プランクトン採集量(0.335mm以上)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出した概算値。

※卵稚仔数は小数点以下第一位を四捨五入した値。

21 ←	卵密度
● 0.6 ←	カイアシ類密度
5 ←	仔魚密度





※カイアシ類量は、プランクトン採集量（沈殿量）に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。
 ※カブトクラゲは、丸特Bネットによる全定点の平均採集量。
 ※この報告の情報により不利益等が発生した場合において、水産試験場は何ら責任は負いません。

2023 年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(6回目)

調査日: 2023/7/4

S T	曳網水深 (m)	表層水温 (°C)	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ仔魚	マイワシ仔魚	その他稚仔
H1	20	25.8	35	0	2	1	0.0	4
H2	20	26.0	6	0	1	2	0.0	0
H3	20	26.1	36	0	0	0	0.0	0
H4	20	25.5	25	0	4	2	0.0	2
H5	20	26.8	110	0	10	10	0.0	3
H6	20	25.0	4	0	2	1	0.0	1
H7	20	25.2	33	0	8	0	0.0	1
平均		25.8	36	0	4	2	0	2

※卵稚仔数は採集数を示す。